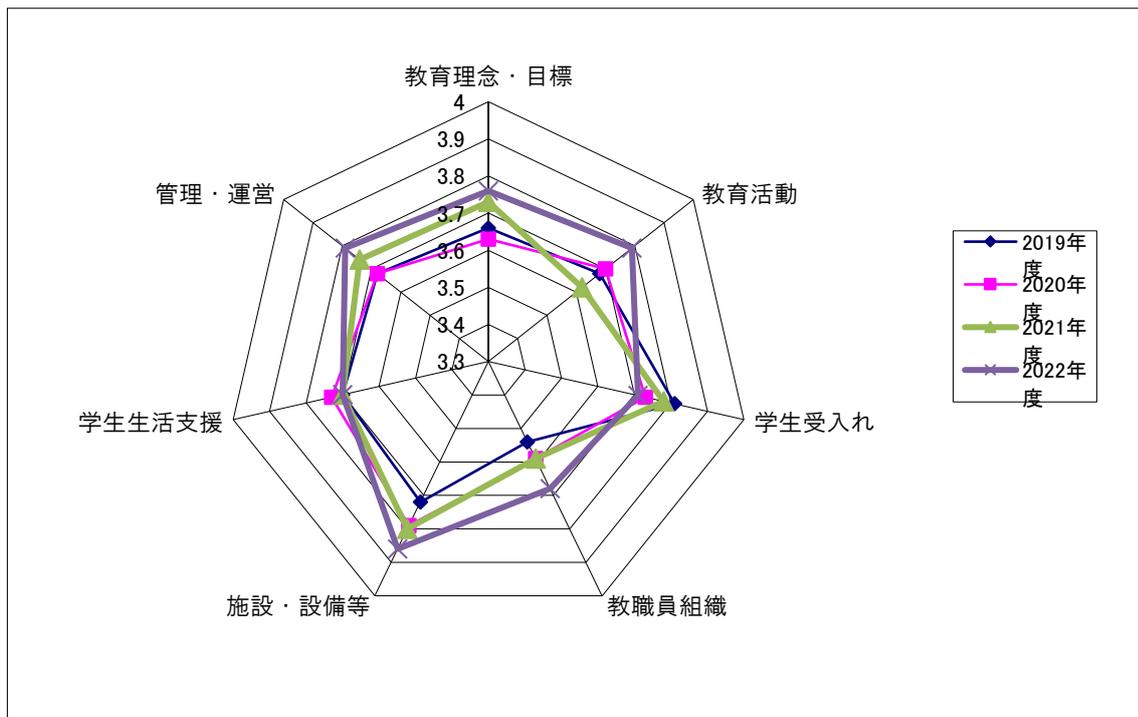


2022年度 茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 自己点検・自己評価

| | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|----------|--------|--------|--------|--------|
| 教育理念・目標 | 3.66 | 3.63 | 3.73 | 3.76 |
| 教育活動 | 3.68 | 3.70 | 3.62 | 3.79 |
| 学生受入れ | 3.81 | 3.73 | 3.78 | 3.71 |
| 教職員組織 | 3.54 | 3.59 | 3.59 | 3.68 |
| 施設・設備等 | 3.72 | 3.79 | 3.80 | 3.86 |
| 学生生活支援 | 3.70 | 3.73 | 3.70 | 3.70 |
| 管理・運営 | 3.68 | 3.68 | 3.74 | 3.79 |
| 平均(4点満点) | 3.68 | 3.69 | 3.71 | 3.76 |



総合評価

2022年度の本校自己点検・自己評価の結果は、過去3年と比較したところ7項目中5項目で最高、平均においても最高評価となった。「教育理念・目標」の高評価は、アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの浸透が教職員間に進んでいることを示唆するものであろう。「教育活動」では、PT学科の国試合格率が前年度の低迷から大きく改善したことに加えST学科の合格率100%が好材料、授業評価委員会やFD委員会の発足による授業評価の継続やコマシラバス作成の動き、また、成績低迷者への補講等による学生支援の時間を増やしていることが評価されたと考える。一方、「学生受入れ」は過去4年間で最低点となった。学生募集に伴う活動の評価は上々だが、これまで定員確保を継続していたPT学科に定員割れが生じ、3学科全てで定員割れを起したことから当該項目の評価が2点台と非常に低くなったことが原因である。その他、「施設・設備等」では全体としての評価は悪くないが、一部の教室(講堂)の椅子がパイプ椅子のため、学生の教育環境としては不適切との訴えがあり、早急に解決すべき課題の一つといえる。

「教育理念・目標」や「教育活動」など、取り組みの成果そのものが数値で表し難い事項で成長を示しているが、リハ校全学科の共通課題である学生募集(定員確保)、休退学者の減少、高い国試合格率達成の3大事項は、一部を除き明確な数値でその低迷した状況が示されている。今回の自己点検・評価の結果を参考に、特に低い評価となった項目に関連する部分に注意を払い、積極的に学校運営を行う。